

取扱・組立説明書

管理番号 790-

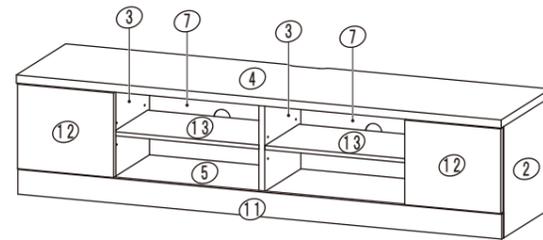
16

S250409-N

F-LBH1501-BK
F-LBH1502-BR
F-LBH1503-WH

MAXZEN ローボード1500

この度はお買い上げいただきありがとうございます。
 取扱・組立説明書には、製品を正確に組み立てて、
 末永くご愛用していただくための情報が記されております。
 本紙の指示通り組み立てて、ご使用してください。
 また、本紙を大切に保管し、必要なときにお読みください。



※本製品の天板耐荷重は(約)40kg(392N)、棚板耐荷重は(約)7kg(68.6N)ですので、その範囲内でご使用ください。

《組立て前に下記注意事項を必ずお読みください》

不用意・不適切な組立ては事故につながるおそれがあります

- ① 部材同士をねじで固定する際は、仮組みを行い穴位置を確認してから、増し締めをしてください。
- ② プラスドライバーの先端十字は、ねじの十字と合ったものをご使用ください。



- 工具などの取扱いには十分ご注意ください。
- 組立ての際は製品部材・部品の角でのけがや、床・壁等、室内を傷つけないようご注意ください。
- 組立ての際は、お子さまに注意し、広い場所で行ってください。
- 組立て手順に従って部材の取付け、ねじ締め等確実に行ってください。
- 組立て手順が違くと組み立てられない場合があります。

部材の取付け、ねじ締め等が不十分ですと使用中に製品が破損しけがをすることがあります。
 また、まれにねじ締めが固い場合には、家庭用のロウや石鹸をねじに塗ると入りやすくなります。



組立てに必要な工具です。
 ご用意ください。



握り手が太く(径3cm以上を推奨)、力の掛け易いものを使用してください



直接たたかず古雑誌などをあててください



カッター



注意

- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所には設置しないでください。▶倒れてけがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて設置しないでください。▶火災の原因になります。
- とくとき各部のねじ類がゆるんでいないか点検し、増し締めをしてください。▶ゆるんだまま使用すると倒れてけがをすることがあります。
- 製品に異常を発見した場合、ご使用をお控えください。▶破損や倒れてけがをすることがあります。
- 分解や改造をしないでください。▶破損やけがをすることがあります。
- 水や蒸気を製品にかけないでください。▶製品を傷めます。
- ごくまれに木材の接着剤に含まれるホルムアルデヒドが残っている場合があります。▶肌の弱い人はアレルギー症状をおこす場合がありますので、使い始めには換気を十分にしてください。



お手入れ方法

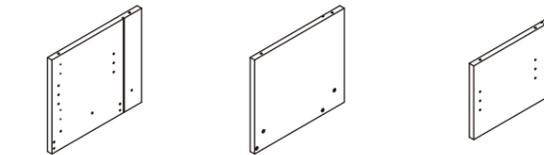
- ① お手入れには、柔らかい布をお使いください。
 - ② 汚れを落とす場合は、空拭き又は、ぬらして固く絞った布などで拭いてください。
 - ③ 汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使って汚れを取り、ぬらして固く絞った布にて洗剤が残らないよう拭き取り、さらに仕上げは、乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。
- ※シンナー・アルコール類のご使用は避けてください。

パーツチェック

●最初に必要なパーツが揃っているかご確認ください。

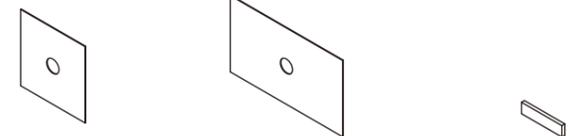
部材

●パーツには番号が表示してあります。



- ① 左側板 ② 右側板 ③ 中仕切り

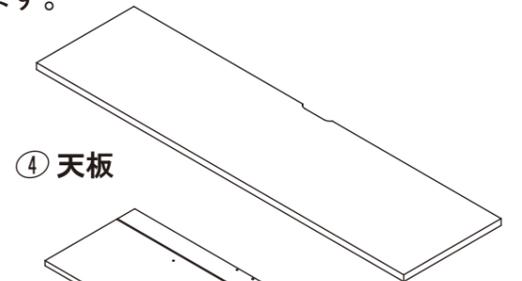
●中仕切りには上下方向があります。組立てかた②ではご注意ください。



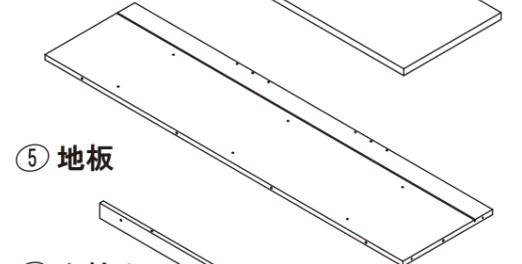
- ⑥ 背板1×2 ⑦ 背板2×2 ⑧ 配線こぼれ止め×2



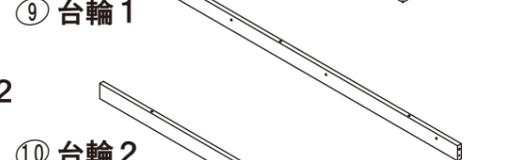
- ⑫ 扉×2 ⑬ 移動棚1×2 ⑭ 移動棚2



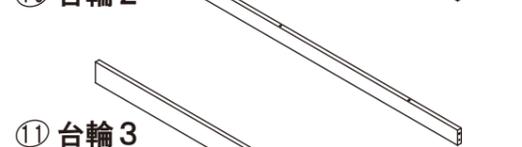
- ④ 天板



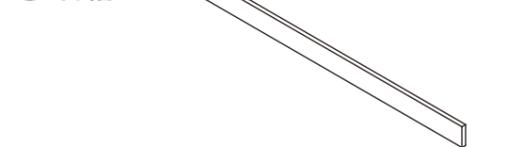
- ⑤ 地板



- ⑨ 台輪1



- ⑩ 台輪2



- ⑪ 台輪3

部品

かたち	なまえ	数	予備	かたち	なまえ	数	予備
	組立てねじ	14	1		スライド蝶番	4	
	配線こぼれ止め取付ねじ	4			スライド蝶番取付ねじ	16	1
	木ダボ	28	1		ビス穴シール	8	1
	接着剤	2		※ビス穴シールは、取扱・組立説明書と一緒にビニール袋に入っています。			
	棚受ダボ	12	1				
	背板ストッパー	8		マクスゼン株式会社 マクスゼンテクニカルセンター 受付時間 9:00-17:00 (土・日・祝日・夏季休業期間・年末年始等を除く) TEL:0570-099 455 mail: mtc@maxzen.jp ○本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。 ○本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。 ○本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。 ●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。			
	背板ストッパー固定ねじ	8					
	台輪取付ねじ	4					

1 ⑤地板に木ダボを取り付けます。

木ダボ ×2
 接着剤

木ダボ
 図と同じ位置に取り付けてください。

約10ミリ
 打ち込みすぎに注意。

木ダボの入る穴に接着剤を入れてください

接着剤の先をカット！
 カットの目安2ミリ

穴の30%

2 ⑤地板に③中仕切り(×3)を取り付けます。

組立てねじ ×6

中仕切りには上下方向があります。
 上
 下
 大きい穴のあいている方が上になります。

溝

③中仕切り

⑤地板

段差のある穴

ねじ締めが固い場合には、家庭用のロウや、石鹸をねじに塗ると入りやすくなります。

この大きさのねじを 사용합니다

組立てねじ

3 ⑧配線こぼれ止め(×2)に木ダボを取り付けます。

木ダボ ×2
 接着剤

木ダボ
 図と同じ位置に取り付けてください。

約10ミリ
 打ち込みすぎに注意。

木ダボの入る穴に接着剤を入れてください

4 ⑧配線こぼれ止め(×2)を取り付けます。

配線こぼれ止め取付ねじ ×4
 接着剤

⑧配線こぼれ止め

段差のある穴

右向きなどをあててください

⑤地板

この大きさのねじを 사용합니다

配線こぼれ止め取付ねじ

5 ⑨台輪1、⑩台輪2に木ダボを取り付けます。

木ダボ ×10
 接着剤

木ダボ
 図と同じ位置に取り付けてください。

約10ミリ
 打ち込みすぎに注意。

木ダボの入る穴に接着剤を入れてください

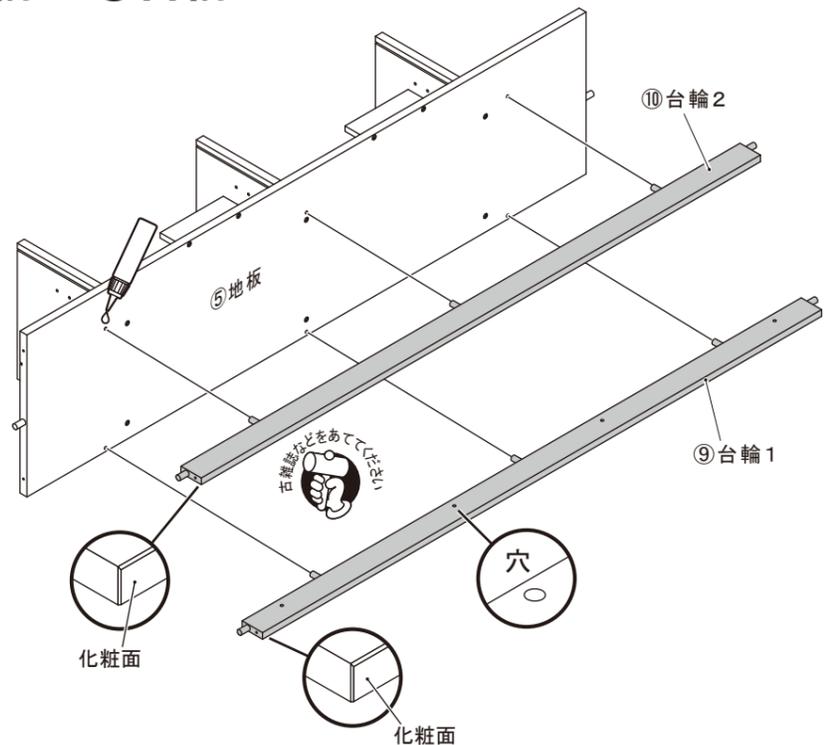
⑩台輪2

⑨台輪1

6 ⑨台輪1、⑩台輪2を取り付けます。

接着剤

木ダボの入る穴に接着剤を入れてください



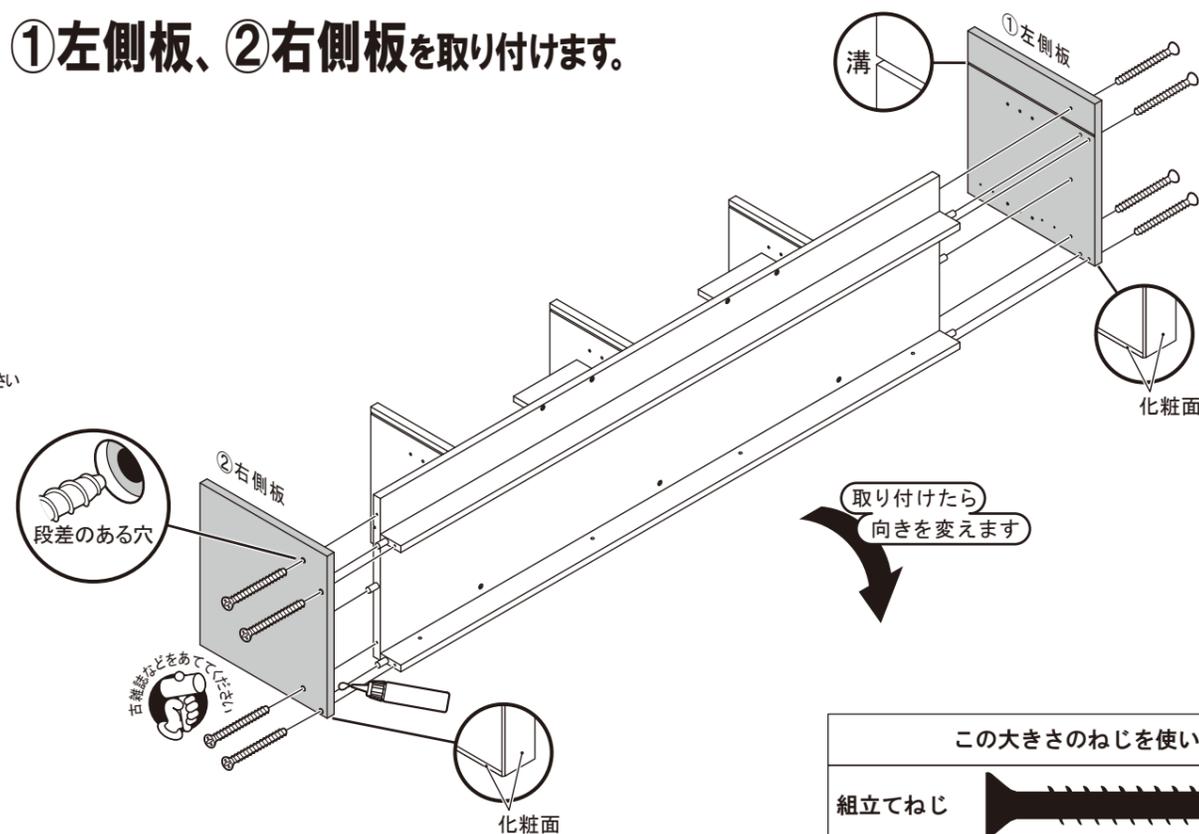
7 ①左側板、②右側板を取り付けます。

組立てねじ

×8

接着剤

木ダボの入る穴に接着剤を入れてください

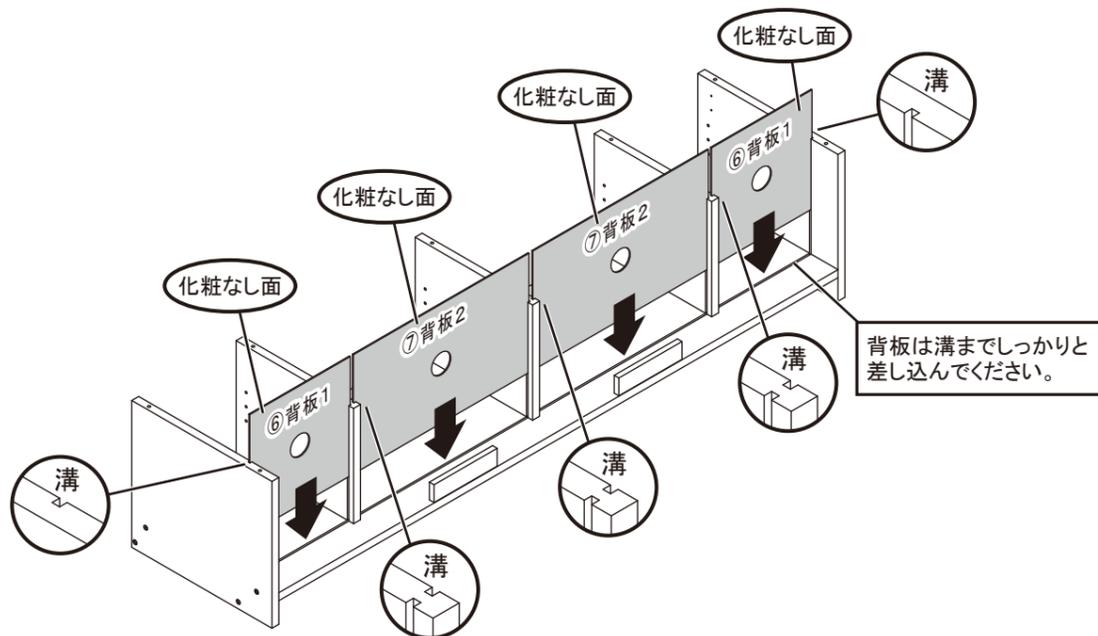


この大きさのねじを使います

組立てねじ



8 ⑥背板1(×2)、⑦背板2(×2)を差し込みます。



9 ④天板に木ダボを取り付けます。

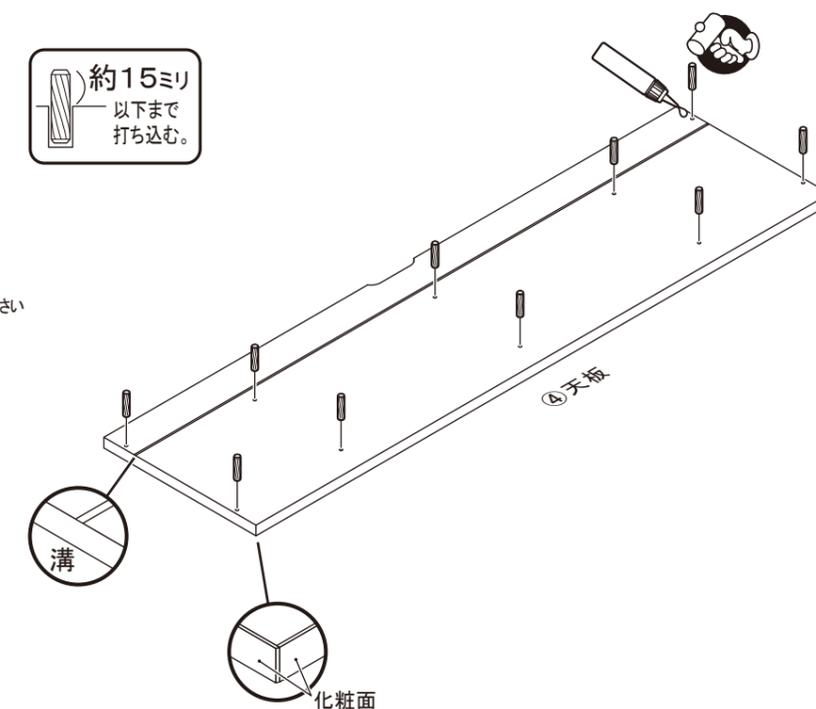
木ダボ

×10

接着剤

木ダボの入る穴に接着剤を入れてください

約15ミリ以下まで打ち込む。



10 ④天板を取り付けます。

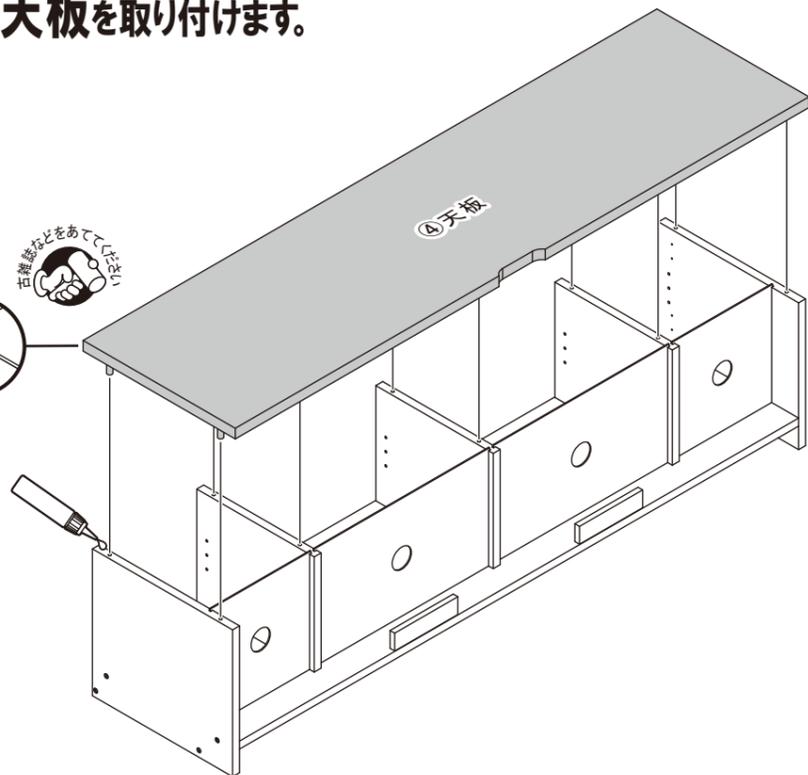
接着剤



木ダボの入る穴に接着剤を入れてください



化粧面



11 背板ストッパーを取り付けます。

背板ストッパー

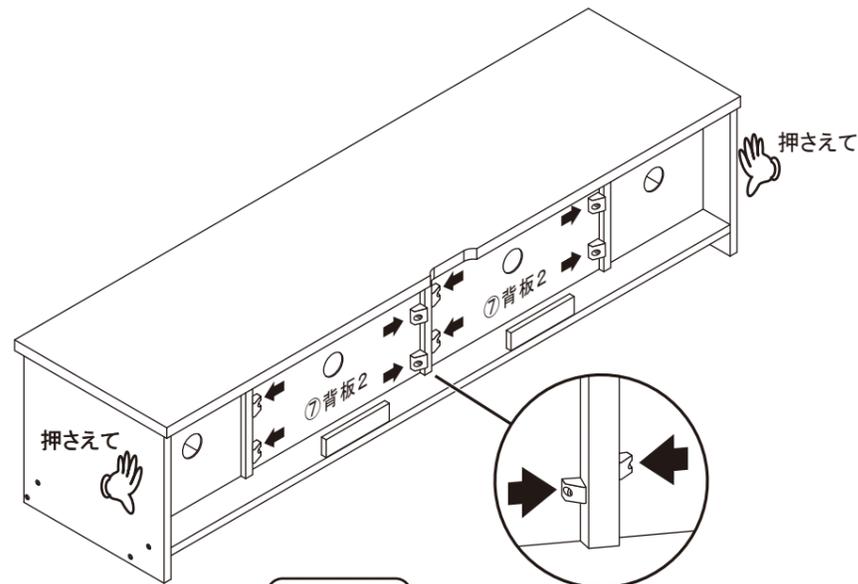


×8

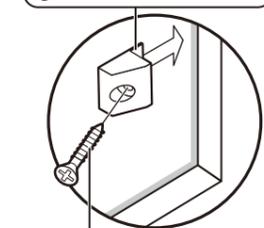
背板ストッパー固定ねじ



×8



①ツメを隙間に差し込みます



②力をかけながら締め付けます

イラストの➡の位置に取り付け、家具のがたつきや揺れを抑えます。

取り付けたら向きを変えます

背板ストッパー固定ねじが干渉して取り付けられないため、少しずらしてください。

この大きさのねじを 사용합니다

背板ストッパー固定ねじ



12 ⑪台輪3に木ダボを取り付けます。

木ダボ



×4

接着剤



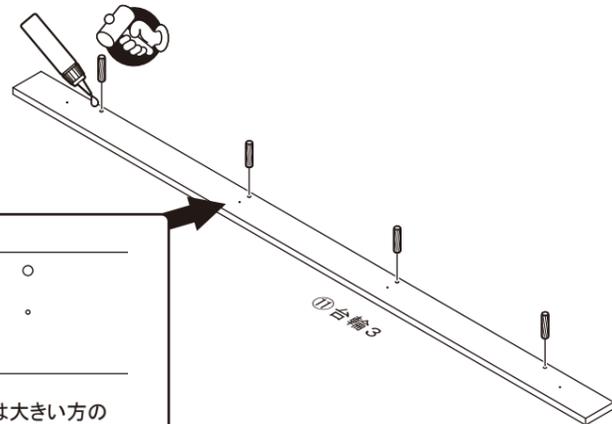
木ダボの入る穴に接着剤を入れてください

木ダボ



図と同じ位置に取り付けてください。

約10ミリ
打ち込みすぎに注意。



木ダボは大きい方の穴に取り付けてください。

13 ⑪台輪3を取り付けます。

台輪取付ねじ

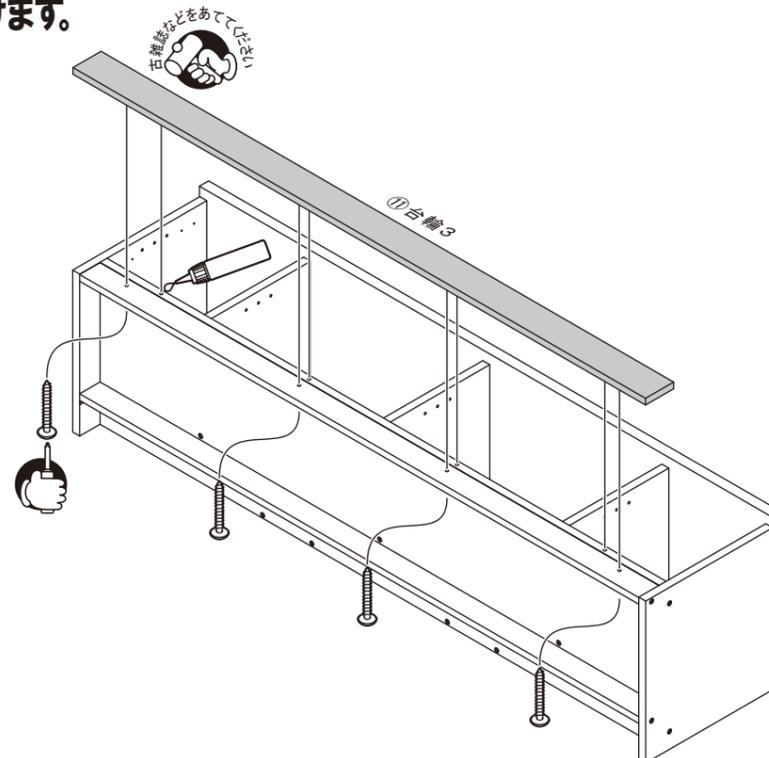


×4

接着剤



木ダボの入る穴に接着剤を入れてください



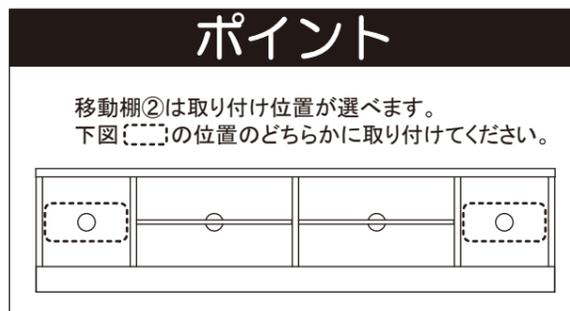
この大きさのねじを 사용합니다

台輪取付ねじ

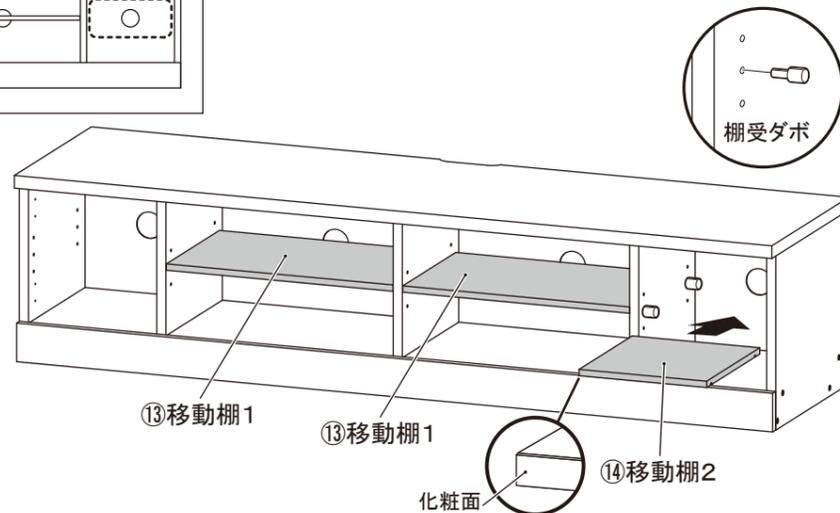


取り付けたら向きを変えます

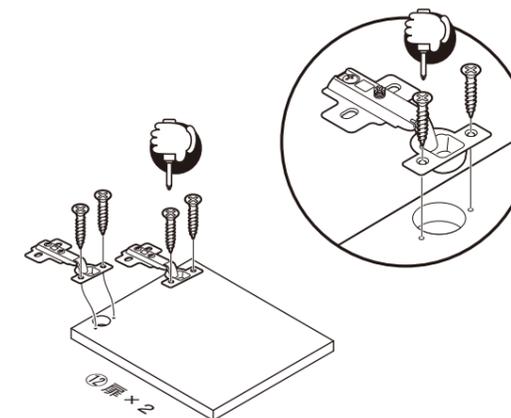
14 ⑬移動棚1(×2)、⑭移動棚2を取り付けます。



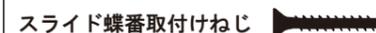
※移動棚②を右側に取り付ける場合のイラストです。



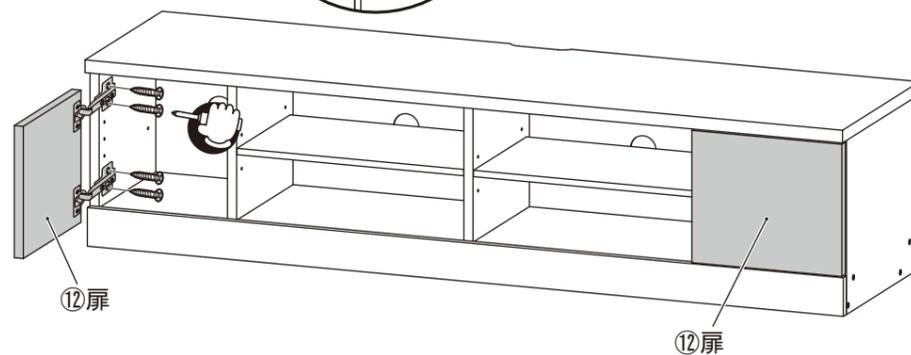
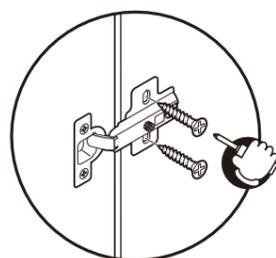
15 ⑫扉(×2)にスライド蝶番を取り付けます。



この大きさのねじを使います

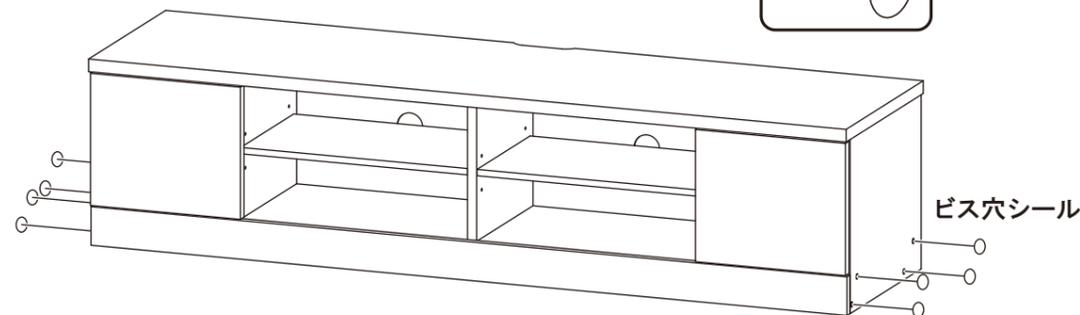
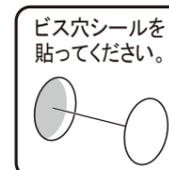
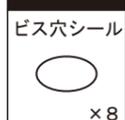


16 ⑫扉(×2)を取り付けます。

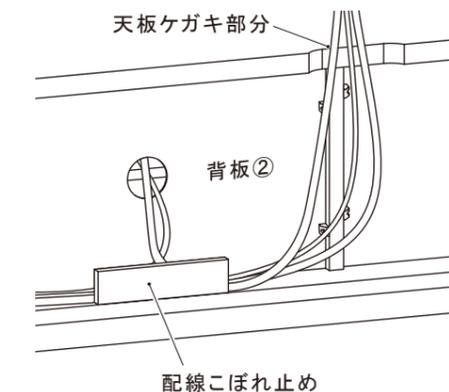


★他の扉も同様に取り付けます。
※必要に応じて扉の微調整を行ってください。
扉の微調整の方法は、6ページの「スライド蝶番説明書」を参照してください。

17 ビス穴シールを貼って完成です。



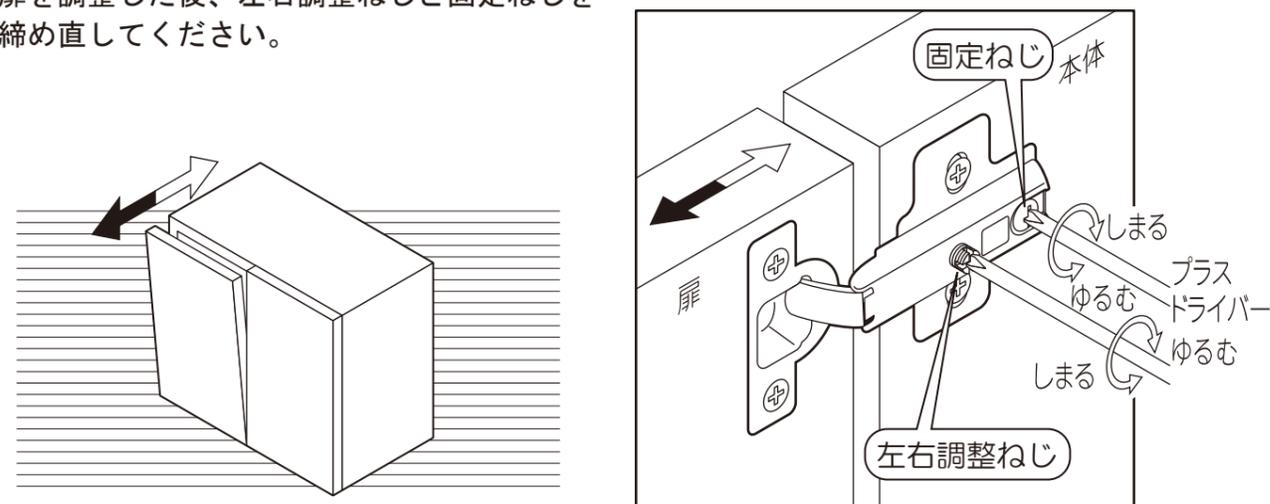
背面は天板ケガキ部分、背板②と配線こぼれ止め
の間に配線コードを通してご使用いただけます。



【背面から見た図】

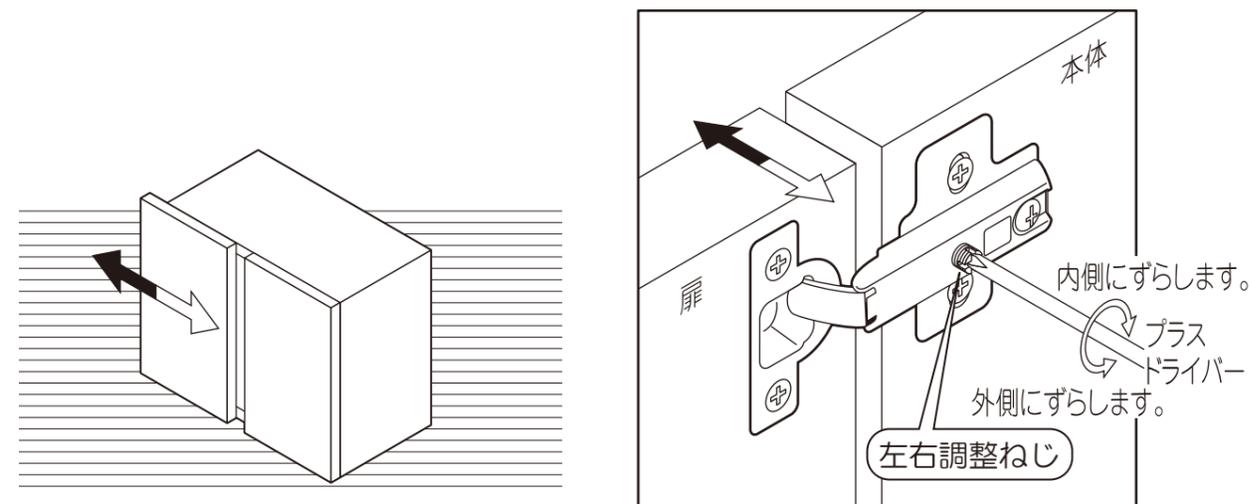
●扉を閉じた状態で前後にずれが生じた場合

扉を支えながら、固定ねじと左右調整ねじをゆるめ、扉を調整した後、左右調整ねじと固定ねじを締め直してください。



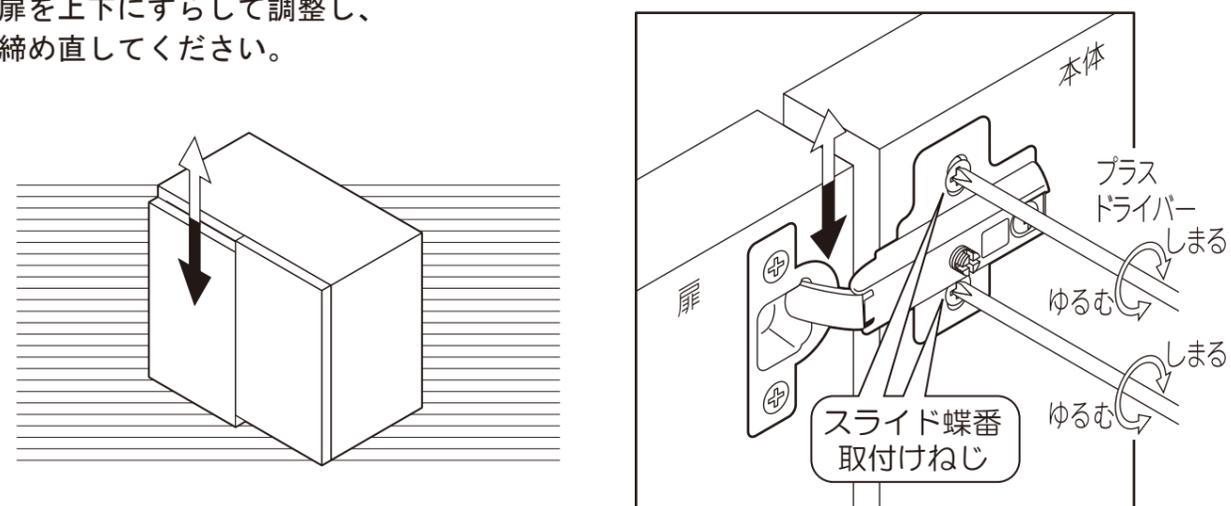
●扉を閉じた状態で内外にずれが生じた場合

左右調整ねじを回して調整してください。



●扉を閉じた状態で上下にずれが生じた場合

扉を支えながら本体側のスライド蝶番取付けねじをゆるめ、（調整したい扉の、本体側のスライド蝶番取付けねじを全てゆるめます。）扉を上下にずらして調整し、締め直してください。



●扉を閉じた状態で扉の中央が少し浮いてしまう場合

扉を支えながら固定ねじと左右調整ねじをゆるめ、扉を前方にスライドさせた後、左右調整ねじと固定ねじを締め直してください。

